

秘密保全法制と報道の自由 について考える院内集会

主催：日本弁護士連合会

2/8(水)

政府は、昨年8月に「秘密保全のための法制の在り方に関する有識者会議」が取りまとめた報告書を受けて、本年の通常国会に秘密保全法制に関する法案を提出すべく準備しています。

法案の基となる報告書の内容は、秘密探知行為である「特定取得行為」を処罰対象にするなど、報道機関の取材活動や報道について重大な影響を及ぼすおそれがあり、憲法上の諸原理に対する重大な脅威になる可能性が高いものです。

ほかにも、立法事実を欠くこと、秘密の概念が曖昧であり、罪刑法定主義に反すること、公開の法廷で裁判を受ける権利や弁護を受ける権利を侵害するおそれがあることなどの問題点もはらんでいます。このような問題点については、十分に国民の間で周知・議論がなされていません。

当連合会は、拙速な議論状況に強い危機感を抱き、これまでに会長声明等を公表して問題提起してきました。また、複数の報道関連団体も、同様の観点から意見を表明しています。

標記集会では、秘密保全法制の問題点を分析するとともに、報道の自由との関係についても検討したいと思います。多数の御参加、お待ちしております。

日時：2012年 **2月8日** (水)

11:30 ~ 12:30

(開場11:15予定)

場所：参議院議員会館1階講堂

参加費無料・**事前申込必要**

プログラム(予定)

主催者挨拶

宇都宮 健児(日本弁護士連合会会長)

国会議員の方からの御挨拶

西山太吉氏の声(御本人による御発言)

日弁連からの報告

報道関連団体の意見表明

御参加いただける場合には、下記に必要事項を記入の上、FAXにてお申し込みください。

当日は日本弁護士連合会職員や報道機関による写真・映像撮影が行われる場合があります。撮影を望まれない方は、当日、担当者までお知らせください。

日本弁護士連合会法制部法制第一課行 / 返送用FAX:03-3580-9920

ご所属(弁護士の場合は所属会): (_____)

お名前: (_____) 登録番号(弁護士のみ): (_____)

連絡先: (_____)

御提供いただいた個人情報は、日弁連のプライバシーポリシーに従い厳重に管理し、本イベントの参加者の把握の目的以外には使用いたしません。